

お知らせ

広報むなかた

むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページアドレス
http://www.city.munakata.lg.jp/
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行：宗像市 〒811-3492 福岡県宗像市東郷 1-1-1
代表：総務課 ☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集：情報政策課広報係
☎0940-36-1055 FAX 0940-34-2002

毎月1日・15日発行

消費生活ひと言メモ
みんなで買い生活を!

平成22年9月1日号

「点検商法」に注意! 無料の先に高額な契約も!?



もちろん修理や工場の必要があれば、料金をいただきますよ!

屋根や床下、浄水器、布団などを「無料で点検します」と言って新たな契約を勧誘する商法があります。「点検だけ」「無料だから」など、安易に受け入れるとトラブルになる場合があるので注意が必要です。即断の契約は控え、専門家や家族、身近な人に相談しましょう。

問い合わせ先
消費生活センター ☎(33)5454
(平日8:30~17:00)

は、市広報紙以外の団体発行物です。

1.4-6.10-12.14	2.3	ユリックス・サラダ	市議会だより	7.8 市民活動ネットワーク	9 体協だより	12 そうだん	12.13 施設だより	14 市民
お知らせ	行政							

【長野ヒデ子さんの講演】



「知ることは人生が何倍も楽しくなる」と話す長野さん

絵本作家の長野ヒデ子さんから、絵本を通して「日常のなにげない生活の中に大事なものがあふれている」と「人がつくった差別がいかにおろかなことか」など、穏やかな語りの中に、人間

【谷井博美市長のあいさつ】

「差別意識」や「差別表現」が依然として根強く残っています。これまで以上に、人権意識を高め、お互いが人権を尊重しあい、豊かで住みよい、元気な都市の実現を目指しましょう。

感動をもらった人権講演会



講演 絵本「ひらがなにつき」と私
講師 長野ヒデ子
映画 「見えない虐待をしないために」

市では、同和問題啓発強調月間にあわせて7月28日、宗像ユリックスで人権講演会を開催。今回は、講演 絵本「ひらがなにつき」と私、映画「見えない虐待をしないために」の2部構成で開催しました。

問い合わせ先 人権対策課 ☎(36) 1270

として生きていくための多くの示唆をもらいました。

● 絵本「ひらがなにつき」

現在84歳のおばあさんをモデルにしています。

おばあさんは、家が貧しく、戸籍もなく、子守りなどに出され、学校に行けませんでした。

64歳で、近くの識字学級(大人の人に字の読み書きを教えている教室)に通うようになりま

す。

小学1年生の孫が、「一緒に字を覚えよう」と言ってきたので、字を覚えることを決心しま

す。

字を覚えると、手にぎゅっと握りしめて帰りました。字はおばあさんにとって、かわいい宝

でした。町で落書きを見ると、悔しくて涙が止まりませんでし

た。引っ込み思案だったおばあさんは、字を覚えて、少し発言できるようになりました。

現在、おばあさんは近くの小

学校を訪問して、字の大切さを伝えていきます。

長野さんは、「特別でない普通の人が、このようなことに出合ったこと」の現実を知ってほしいと訴えました。

このほか、長野さんの代表作品、絵本「とうさん かあさん」、「おかあさんがおかあさんになった日」などの話からの言葉を紹介します。

▽「日常のなにげないことから大事なものが生まれてくる」

▽「日常のことでもちよつと角度を変えると新鮮になる」

▽「感じる心を豊かにし、知るために学ぶことで、人生は何倍も楽しくなる」

【虐待をしないための映画】

子どもへ、見えない虐待をしないために、幼児期・児童期の子育てに関して、次にあげる3つの内容をもう一度振り返り、子どもへの関わり方を考えてみてください。

- ①子どもに、よいと思っ

【第19回宗像地区「同和」教育研究会】

同和実行委員会が、「むなかたに人権の輪を」と題して開催。詳しくは問い合わせを。
日時 9月5日(日) 午前10時~午後3時
会場 アクシス玄海・海と緑のホール
参加費 500円
*高校生以下無料
問い合わせ先
九州大学研究室同実行委員会事務局(新谷)
☎092(642)3112

【参加者のコメント】

- 長野さんの温かい話ぶりに心洗われ、命の大切さを思い起こす、よい機会になりました。あたりまえに思っていることのありがたさを感謝できる自分でありたいと思いました(40歳代・女性)
- 虐待は、目に見えるだけのものでなく、子どもを精神的に追いつめ、自由を奪うことなども虐待にあたるということを聞き、とても勉強になりました(20歳代・女性)
- 「知るは強い力なり」元気ができました(60歳代・男性)
- ② 子育ての悩みを相談せず、一人でかかえ込んでいないか
- ③ 児童期は、過干渉にならない。しつこく暴力を混同しない。「言って、聞かせて、やらせてみて、できるまで待つ」

ワクワクWORK

中学2年生が職場体験

市教育委員会では、市内全中学校の2年生890人が、市内事業所で「働く」ことを体験する中学生職場体験事業「ワクワクWORK」を9月13日(月)から実施。生徒を受け入れる事業所は約250カ所です。期間中、市内事業所で頑張る子どもたちに温かい声かけをお願いします。



このステッカーが受け入れ事業所の目印です

「ワクワクWORK」は、中学生が地域の職場や産業への理解を深めるとともに、自らの興味や適性についての考えを深め、職業観や勤労観をはぐくみ、将来への夢や希望・展望を持ち、主体的に日々の学習活動に取り組むようになることを目的としています。

問い合わせ先 教育政策課 ☎(36)5099

9月13日(月)~同17日(金)
体験してわかる
社会のしくみ



魚のウロコ取りをする中学生(昨年の様子)